



令和3年度1学期が終了 ご理解・ご協力ありがとうございました

【1学期終業式：校長先生の話】

4月7日に151名の1年生を迎え、墨坂中学校の令和3年度が始まってから、72日目、1学期の終業式を迎えました。生徒のみなさんと先生方が元気に1学期を終わることができることを大変うれしく思います。

そして今は3人の友達から1学期のまとめやこれからの目指すものについて、すばらしい発表がありました。3名の皆さん、自らの行動に繋げていこうとする心に迫る発表をありがとうございました。

この1学期もコロナ対応により、様々な対策や工夫をしながらの学校生活でした。ワクチン接種は進んでいきますが、マスク着用、社会的な距離の確保、3密の回避等の新しい生活様式については、今後とも社会全体でしていかなければならないことです。

こうした窮屈さは伴っていますが、逆にコロナ禍を通して前に進んだことも多くあります。その大きな一つにGIGAスクール構想のもと、タブレットPCが貸し出され、各教室には無線LANが配備され、単なる調べ学習に留まらず、Google Classroomを使ってクラウド上での学習を進めていくことができています。また、今までは紙ベースで行っていたアンケート調査もformを利用することで、より簡単に短時間でできるようになりました。生徒会でも積極的に活用していますね。

さらに、全校が一堂に会することも感染状況に応じて制限されていますが、先生方の工夫により、各教室へのライブ配信を始め、各教室の様子もmeetを使って体育館で共有でき、双方向のライブ映像が可能となっています。外部の講師の先生方による講演会についても、Zoomを使って遠く離れた場所からの講演を居ながらにして視聴できています。

もう一つ、係の先生方のご努力により、皆さんのタブレットPCに5教科のデジタル教科書もインストールされました。もうすでにタブレットPCは家へ持ち帰っています。休み明けも原則毎日家に持ち帰ります。これにより、授業への予習や復習を始めとして、このデジタル教科書やeライブラリー、そしてClassroomを用いた家庭学習が可能になります。ぜひ、学校から出された夏休みの課題を参考に、昨年までとは異なる家庭学習に挑戦してください。6月の講話でマルク・スレーム選手について、5つの資料全てを読んだ上でのメッセージをformで提出することをお願いしています。昨日、スレーム選手に関する新たな報道がありました。その資料も前回の講話のClassroomの中に6つ目の資料として入れておきましたので、もう既に提出した人もその資料を含めてメッセージを再度送信することができます。現在133名が提出済みになっています。8/18〆切です。夏休み中に送信してください。

また、タブレットPC導入に伴い、墨中には「ICT推進局」が誕生しました。内堀局長を始め10名の局員が墨中のICTを推進し管理していくために、自らの意思で申し込んでくれました。推進局から出された「4つのS」、Study、Safety、Security、Self-Controlの4つの心得を一人ひとりが確実に守っていくことが、この推進局のメンバーの努



水曜日朝の活動として行なっている
タイピング練習の様子



1学期音楽のテストはCBT(Computer Based Testing)で行いました

力に応えることとなります。さらに、このタブレットPCは、鉛筆のような文房具として学習に活用してもらうことが、貸して下さっている須崎市や授業等における様々な工夫をして下さっている先生方の思いに答えることとなります。皆のタブレットPCとGoogleアカウントにはそれぞれ墨坂中学校という住所と皆さんの名前が設定されていて、万が一4つのSを守らないと、その人の住所、つまり墨坂中学校の生徒であることと個々の名前がわかってしまいます。そこを487名の生徒全員がしっかりと自覚した上で、文房具のように使って欲しいと思います。

1年生、もうすっかり中学生になりました。学年で月ごとに目標を決め、それに向けて一丸となって取り組んでいました。1年生の授業の様子をみると多くの生徒が楽しそうに一生懸命取り組んでいますね。2年生、朝の当番活動を一生懸命行っている姿が素晴らしいです。1年生のよきお手本として、そして3年生のよき姿に学ぼうとしていました。3年生、生徒会活動、中体連の大会、これからあるコンクール・・・3年生は学校の顔として機関車として大活躍してくれました。きっと自分がかんばった瞬間、輝いた瞬間をいくつも思い出すことができるでしょう。頼もしい3年生です。2学期も宜しくお願いします。

長かった1学期ですから、きっと苦しかったり、面倒くさかったりした時もあったでしょう。時には友達や先生と衝突したこともあったことでしょう。しかし、一人一人がそれぞれそうした苦難を乗り越えながら、何かに一生懸命になり、自分を輝かせていくことができたのではないのでしょうか。

さて、この夏休み中には、4年に一度のオリンピック、しかも我が国での東京オリンピックが開催されます。4年に一度のスポーツの、そして平和の祭典です。私たちは日本人選手を始めとする選手達の活躍に感動をもらったり、心を躍らせたりすることだと思います。またそうした勝ち負けだけでなく様々なことにもきっと心を動かされることでしょう。選手の姿から感じることもできる、勝ち負けの嬉しさや悔しさだけでなくものを、かつての大きな大会でのエピソードから2つ紹介します。

皆さんは以前にも東京でオリンピックが開かれたこと知っていますね。1964年、私が1歳の時ですから、随分昔のことになりました。勿論、私にも記憶はありません。

その東京オリンピックでの出来事です。オリンピックが開かれる国は、たくさんのメダルを取れるようにと、お金を使って選手強化をします。その中で、『柔道』には大いに期待がかけられました。柔道は日本で生まれた競技で、この東京オリンピックから正式種目となったのです。その頃の柔道は、男子だけの種目で4つの階級に分かれていました。当然、日本は全部の階級で金メダルを狙っていました。

日本は順調に3つの階級で、金メダルを獲得していきました。いよいよ最後の無差別級の試合になりました。日本代表の神永選手は順調に勝ち進んで、いよいよ決勝戦です。相手は、オランダのヘーシンク選手。背の高い選手です。どちらが勝ったと思いますか？結果は袈裟固めで、ヘーシンク選手が勝ったのです。残念ながら、神永選手は負けてしまったのです。

これはその瞬間の写真です。ところで、ヘーシンク選手の手を見て下さい。手のひらを前に向けていますね。何をしていると思いますか。

実はオランダのコーチたちを「畳の上に上がらないでくれ！」と止めていたのです。柔道は畳の上で、裸足になってする競技です。畳の上は試合をする場所、難しい言葉で言うと神聖な場所なのです。オランダは、強い日本を負かしてしまったのです。ですから、オランダのコーチたちは、喜びのあまり靴のまま畳に上がろうとしたのです。ヘーシンク選手の手は、それを止めていたのです。柔道は、「礼に始まり、礼に終わる」競技で、作法も大切にしています。相撲や剣道もそうですね。もし、オランダのコーチたちが「勝った。勝った」と、畳の上で喜び始めたら、どうでしょう。試合が、礼で終わらなくなってしまう。靴



「墨坂ギネス」の白玉リレー：ときおり強い風が吹く中の実施でしたが、学級の団結力がより高まりました



のまま、畳の上にあがることもいけませんね。それに、負けた選手はどうしたらいいのでしょうか。柔道の作法と同時に、相手のことにまで考えたヘーシク選手。その姿に気づいた人々は、とても感心させられたそうです。一礼をして、日本の選手は引き上げましたが、それよりも長くまだ礼をしていたのがヘーシク選手でした。

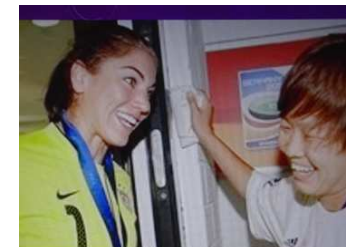


もう一つは女子サッカーです。これは2011年、なでしこジャパンがワールドカップ・ドイツ大会、決勝戦で優勝を決めた瞬間です。私は、この試合である選手を知り、ファンになってしまいました。その選手は宮間あや選手です。試合を振り返ってみます。決勝戦の相手はアメリカでした。女子サッカーではアメリカが断トツの強さを誇っていました。

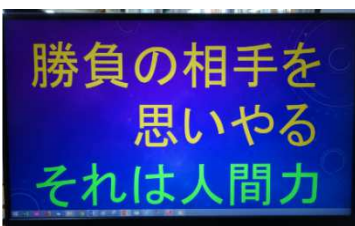
その試合は2対2の同点で延長戦に入りましたが、延長戦でも勝負がつかまませんでした。サッカーではこの後PK戦が行われます。ここで日本が成功すれば勝ちというPKをみんなが祈るような気持ちで見つめていました。日本は成功しました。優勝を決めた日本の選手はみんな喜び合おうと、集まる瞬間です。でも、ここに宮間選手は、いないのです。どうしたのでしょうか。ひとり、宮間選手はアメリカの選手のところへ行き、アメリカの選手たちと握手をしていたのです。青色のユニフォームを着た8番の選手です。相手の選手に、「お互いに全力を出して、良い試合ができたね。ありがとう。」と言いたかったのだそうです。世界で1番になったのですから、日本の選手が喜ぶのは当然です。応援していた人も大喜びをしました。でも、たった一人、宮間選手のとった行動は、先ほどの柔道のヘーシク選手に似ているところがあると思います。この写真はフランスとの試合後の宮間選手です。フランスとの試合でも、相手選手に寄り添っていることがわかりますね。



この写真は試合後、アメリカチームのキーパーのホープ・ソロ選手と話をしている写真です。ソロ選手にとって、宮間選手が一番嫌なはずですが、宮間選手の気持ちが伝わったのでしょうか。和やかに話をしています。首にかけられているものを見て何か気づきましたか。宮間選手の首からかけられた金メダルは服の中に入れてられています。ここでも、宮間選手の心遣いが感じられますね。



ヘーシク選手と宮間選手、この2人から「勝負の相手を思いやる」ことを教えられました。これぞ「人間力」の高さだと思います。この「人間力」ということについては、昨年度の校長講話でも取り上げた大リーグで大活躍の大谷選手が注目を集めています。彼の人間力については、2学期の始業式でお話する予定です。



日本人はどの競技でも礼を大切にしています。墨坂中の皆さんも、各部活動だけでなく普段の生活の場においても「お願いします」最後に「ありがとうございました」と言えますし、「おはようございます、こんにちは、さようなら」の挨拶を自分から大きな声でできる人が多く、大変気持ちがいいです。これからも相手を思いやる気持ちを、これらの言葉に表してほしいと思います。

明日から、夏休みです。東京オリンピックでの選手達の活躍や様々な姿からたくさんの感動や勇気ももらってください。そして、皆さんもそれらももらって、勉強でも運動でも普段できないことに挑戦してください。何かに一生懸命になる時間、自分が輝く時間を過ごしてください。ただし、決して他人を邪魔するようなことはしないようにしてください。家族や友達に悲しい思いをさせるようなことのない楽しい夏休みにしてください。そして、2学期が始まる8月20日にはひとまわりたくましくなって登校してきてください。それでは、みなさんにとって29日間の夏休みが、素晴らしいものとなることを願ってお話を終わりにします。

令和3年度 運動部 長野県中学校総合体育大会の結果

男子ソフトテニス

男子団体戦 7/17(土) 南長野運動公園庭球場

1回戦：●墨坂1 - 2北安松川○

男子個人戦 7/18(日) 南長野運動公園庭球場

・ペア

1回戦：○墨坂4 - 2臼田● 2回戦：●墨坂1 - 4辰野○

・ペア

1回戦：●墨坂2 - 4伊那○

バドミントン 長野県中学校総合体育大会

女子団体戦 7/17(土) 松本平広域公園総合体育館

予選リーグ2位通過(●墨坂1 - 2伊那東部○ ○墨坂2 - 1豊科南●)

決勝トーナメント 1回戦：●墨坂0 - 2高森○

女子ダブルス 7/18(日) 松本平広域公園総合体育館

・ペア ベスト8

1回戦：シード 2回戦：○墨坂2 - 0明科● 準々決勝：●墨坂0 - 2伊那○

柔道

柔道 7/18(日) 三郷文化公園体育館

男子73kg級 1回戦：●墨坂 - 喬木○



※卓球県大会個人戦は、7月23日(金)に岡谷市民総合体育館にて開催予定です。

※吹奏楽部は、7月25日(日)に飯山市民文化交流館“なちゅら”にて北信A地区大会に参加予定です。

※合唱部は、7月30日(金)にホクト文化ホールにてNHK合唱コンクールに参加予定です。

夏休みについて

★かぜ様症状等が本校に通うお子さんやご家族に見られる際の登校判断について

夏期補習(SAT)や部活動等に参加するために登校する際は、長野圏域の感染警戒レベルに応じて、通常登校時と同様の判断規準に従ってください。なお、本人または家族が、陽性者となった時、または濃厚接触や接触者としてPCR検査の対象になった時は、学校までご連絡ください。また、3学年の高校体験入学等については、3学年から出ている進路通信等に指示に従ってご対応ください。

★夏休み中における緊急時の連絡先について

夏休み中であっても、週休日、祝祭日、学校閉庁日以外は、日直の職員が出勤しているので8:15~16:45に緊急時の連絡ができます。時間外、週休日、祝祭日、学校閉庁日については、留守番電話対応となっておりますので、市役所(245-1400)にご連絡ください。

学校閉庁日 8/10(火)~16(月)

○学校生活について心配なことや不安なことがありましたら、遠慮なく学校(教頭、養護教諭)まで、ご連絡ください。(TEL 026-245-0564)